



雪かき隊が市民の足を支えます —平成19年度雪かき隊出動式—



▲除雪車に興味津々の平屋小学校児童たち

十一月三十日、除雪や凍結防止剤の散布などにより、冬の円滑な道路交通の確保を図る「雪かき隊」の出動式（府南丹土木事務所、南丹市、京丹波町主催）を道の駅「美山ふれあい広場」で行いました。出動式の実施は、今年が初めて。除雪作業を担う地元業者の決意表明や平屋小学校の児童から激励の言葉のあと、除雪車の説明がありました。

美山町では、午前五時に測定地での積雪が十センチを超える、除雪作業を始めます。六人の積雪観測員に積雪の確認をお願いしています。

十一月十五日、第二回南丹市身体障害者福祉大会が南丹市日吉町生涯学習センターで行われました。

大会には市内各地からおおよそ八十人が参加し、市身体障害者福祉会の長野勇吉会長が、「会員同士が団結し相互理解を深めながら積極的に活動を行います」とあいさつ。次に、「障がい者の自立と社会参加の平等を誓う大会宣言が行われました。また、和太鼓や日本舞踊のステージ発表も行われ、参加者同士の交流が深めた一日でした。



▲あいさつをされる長野会長

障がい者の自立と社会参加を目指す —第二回南丹市身体障害者福祉大会—

児童虐待予防と子育て支援に意見を交わす —南丹市子育て応援シンポジウム—

十二月二日、子育て支援の輪を広げようと、南丹市要保護児童対策地域協議会（南丹市児童虐待防止ネットワーク）主催の南丹市子育て応援シンポジウムが南丹市国際交流会館で開催されました。

長岡京市で子育て支援を進めておられるNPO法人「ほつとスペースゆう」の工藤充子理事長の講演のあと、子育て中の母親や、保健師らによる公開討論会が行われ、児童虐待を予防する親子関係の支援について意見を発表されました。



▲楽しい手遊びうたを指導するおかあさんデュオ「ぼぼたん」

美山の小・中学生が音楽を通じて交流 —第十七回美山っ子音楽フェスティバル—

十一月九日、今年で十七回目となる美山っ子音楽フェスティバルを南丹市美山文化ホールで行いました。日ごろの音楽活動を通して子どもたちの豊かな感性を養うとともに、その成果を発表し、鑑賞しあうことで、子どもたちの交流を深めようと美山町の全ての小・中学校が参加。

参加した子どもたちは、この日のために練習を重ねた成果を存分に発揮。保護者や地域の方が見守る前で、ホールいっぱい歌声を響かせました。



▲日ごろの練習の成果を発表（写真は平屋小学校）